

- 問1 九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 扇状地 2. シラス台地 3. 三角州 4. カルデラ
- 問2 九州地方の北部に位置し、福岡県と佐賀県にまたがって広がる、日本を代表する稲作地帯として知られる平野はどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 筑紫平野 2. 宮崎平野 3. 熊本平野 4. 十勝平野
- 問3 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 熊本県 2. 鹿児島県 3. 宮崎県 4. 長崎県
- 問4 阿蘇山に見られる「カルデラ」と呼ばれる地形に関する説明として、その成り立ちと内部の様子を正しく組み合わせたものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 大規模な噴火のあとに中央部が陥没して形成され、内部には平坦な土地が広がり集落や農地が存在している。
2. 地殻変動によって山地が海に沈んで形成され、複雑に入り組んだ海岸線が天然の良港として利用されている。
3. 火山灰が長期間にわたって厚く降り積もって形成され、水はけが良すぎるため稲作には向かない広大な台地となっている。
4. 川が山地から平地へと流れ出す場所に土砂が堆積して形成され、水が得やすいため古くから大規模な都市が発達している。
- 問5 13世紀に起こった元寇において、朝鮮半島から九州の博多湾を目指した元軍が、九州へ上陸する前に経由・侵攻した、九州の北西に位置する島を選択してください。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 淡路島 2. 壱岐 3. 対馬 4. 種子島
- 問6 九州地方には多くの火山が分布していますが、その地下にあるマグマの熱を利用して電気を起こす発電方式を何といいますか。二酸化炭素の排出が少なく、持続可能なエネルギー源の一つとして注目されている名称を答えなさい。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 水力発電 2. 風力発電 3. 太陽光発電 4. 地熱発電
- 問7 鹿児島県の大隅半島付近に広く分布する、火山活動による噴出物が積み重なってできた台地について説明したもののとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 灰白色の土に覆われており、水はけがよいため畑作や畜産が盛んに行われている。
2. 川の流れによって運ばれた土砂が河口付近に堆積してできた、平坦で低く湿った土地である。
3. 山地が沈降してできた複雑な海岸線を持ち、真珠やカキの養殖が盛んに行われている。
4. 火山の噴火によって形成された大規模なくぼ地であり、その内部は広大な水田地帯となっている。
- 問8 九州地方などの畜産業において、外国から安価な牛肉や豚肉の輸入が増加した際、国内の農家が経営を維持するために取った戦略として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 「宮崎牛」などの名称を冠したブランド化を進め、品質の高さで差別化を図った。
2. 畜産業から撤退し、すべての農地を海外輸向け果樹栽培に転換した。
3. 外国産の肉に対抗するため、生産コストを極限まで下げて安売り競争を続けた。
4. 外国からの輸入を完全に禁止するよう国に強く働きかけ、市場の独占を目指した。
- 問9 日本の4つの道県の農業統計において、農業産出額が約4,800億円と全国上位でありながら、米の産出額が占める割合がわずかに4.3%にとどまる県があります。この県における農業の特徴として正しいものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 気候が温暖な平野部で、冬の暖かさを利用して野菜を通常の時期より早く栽培する促成栽培が盛んに行われている。
2. 広大な平野を活用し、大型機械を用いた大規模な稲作が行われており、農業産出額の半分以上を米が占めている。
3. シラス台地などの地形を活かし、サツマイモや茶などの生産、および肉用牛や豚などの畜産が全国トップクラスの規模で行われている。
4. 都市近郊の立地を活かして、収穫から消費地までの輸送時間を短縮できるコマツナやホウレンソウなどの近郊農業が中心となっている。
- 問10 ある県の主要5市を比較した統計において、福岡市は面積割合が6.9パーセントと最小クラスである一方、人口割合は31.4パーセントと最大値を示しています。この数値から読み取れる、福岡市の社会的な特徴について述べた文として正しいものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 人口の流出が激しく面積あたりの人口が減少しているため、過疎化対策が必要である。
2. 人口と面積の割合が同程度であるため、過密による交通渋滞などの問題が起こりにくい。
3. 人口割合が面積割合を大きく上回っており、人や機能が高度に集中している。
4. 面積割合が人口割合を大きく上回っており、居住空間にゆとりがある。
- 問11 統計資料において沖縄県の観光客数や観光収入が長期的に増加している背景には、地域の産業構造の変化や社会基盤の整備が深く関わっています。その背景を説明したもののとして、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 那覇空港の拡張や大型リゾートホテルの建設といったインフラ整備が進み、国内外からのアクセスと受け入れ体制が向上したこと。
2. 製造業による輸出額が観光収入を大きく上回ったことで、その利益が観光地の景観維持に再投資される循環が生まれたこと。
3. サトウキビやパイナップルなどの第1次産業の生産を縮小し、すべての労働力を観光産業に集約させる政策が1970年代から徹底されたこと。
4. 県内全域に鉄道網が細かく張り巡らされ、レンタカーやバスを利用せずに観光地を移動できる交通環境が整ったこと。
- 問12 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の巨大な火山活動による噴出物が厚く積み重なって形成された広大な台地を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. カルデラ 2. 筑紫平野 3. 甲府盆地 4. シラス台地
- 問13 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の火山の巨大噴火による噴出物（火山灰など）が厚く積み重なってできた広大な台地を何と呼びますか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 干拓地 2. シラス台地 3. カルデラ 4. 扇状地
- 問14 温泉の源泉数が全国で最も多いことで知られる大分県の地域的特徴について、地形や産業の観点から述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 筑後川の下流に広がる平野部を利用して、米と小麦の二毛作が盛んに行われている。
2. 火山活動が活発な地域に位置しており、別府や由布院などの温泉地が観光の拠点となっている。
3. 広大な干拓地を有しており、機械化された大規模な農業によって小麦の生産が行われている。
4. 亜熱帯の気候を生かして、サトウキビやパイナップルなどの栽培が盛んに行われている。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが噴き出し、その後に地表が陥没したり、浸食を受けたりすることで、円形に近い巨大なくぼ地が形成されます。阿蘇山はこのカルデラの中に集落や田畑、鉄道が広がっている世界的にも珍しい地域です。選択肢にあるシラス台地は火山灰が堆積してできた台地であり、地形の形状や成り立ちが異なります。
問2	答え 1 筑紫平野	筑紫平野は、九州最大の河川である筑後川の下流に広がる平野です。クリーク（水路）が発達し、古くから稲作が盛んに行われています。選択肢の熊本平野は九州中部、宮崎平野は九州南東部に位置します。
問3	答え 1 熊本県	阿蘇山は熊本県に位置しています。熊本県は豊かな湧水や阿蘇の広大な景観を活かした農業が盛んであり、第1次産業の就業者割合が全国平均よりも高い傾向にあります。鹿児島県にはシラス台地、長崎県にはリアス海岸といった特徴的な地形がありますが、阿蘇山のカルデラがあるのは熊本県です。
問4	答え 1 大規模な噴火のあとに中央部が陥没して形成され、内部には平坦な土地が広がり集落や農地が存在している。	カルデラは火山活動による陥没でできた地形ですが、その内部は非常に広大で平坦な土地が広がっている場合があります。阿蘇山では、このカルデラの中に数万人が居住する集落があり、水田や畑などの農地、さらには鉄道（JR豊肥本線）や国道といった交通網も整備されているのが大きな特徴です。他の選択肢はシラス台地、扇状地、リアス海岸の説明です。
問5	答え 3 対馬	この島は地理的に朝鮮半島と九州の間に位置しており、古くから大陸との交流の要所でした。鎌倉時代の元寇（文永の役・弘安の役）では、博多に押し寄せる元軍が最初に攻撃を仕掛けてきた場所として、歴史上重要な役割を果たしています。
問6	答え 4 地熱発電	日本是世界有数の火山国であり、地下のマグマの熱を利用して蒸気を取り出し、タービンを回して発電する仕組みが各地で導入されています。これは再生可能エネルギーの一つであり、天候に左右されにくい安定したエネルギー源として、環境負荷の低減にも貢献しています。
問7	答え 1 灰白色の土に覆われており、水はけがよいため畑作や畜産が盛んに行われている。	九州南部に広がるシラス台地は、火山活動の噴出物である灰白色の「シラス」という土の層で構成されています。この土壌は非常に水はけがよく、水を溜めることが難しいため、水田稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、あるいは肉用牛や豚などの畜産業が発展しました。
問8	答え 1 「宮崎牛」などの名称を冠したブランド化を進め、品質の高さで差別化を図った。	貿易の自由化などにより、海外から安価な食肉が大量に流入するようになると、国内の農家は価格の安さだけでは太刀打ちできなくなりました。そこで、厳しい品質基準をクリアした肉に地域独自の名称を付ける「ブランド化」を行い、価格が高くても品質で選ばれるような付加価値をつけることで、外国産との差別化を図る道を選びました。
問9	答え 3 シラス台地などの地形を活かし、サツマイモや茶などの生産、および肉用牛や豚などの畜産が全国トップクラスの規模で行われている。	農業産出額が高く、かつ米の割合が極端に低いというデータは鹿児島県の特徴を示しています。鹿児島県は、稲作に適さないシラス台地の特性を克服するため、畑作や畜産に力を入れてきました。その結果、サツマイモや茶の生産量、さらには黒豚や肉用牛といった畜産部門で全国屈指の産出額を記録しています。なお、大規模な稲作は主に北海道や新潟県、促成栽培は高知県や宮崎県、近郊農業は千葉県や埼玉県などの特徴です。
問10	答え 3 人口割合が面積割合を大きく上回っており、人や機能が高度に集中している。	福岡市の特徴は、県全体に占める面積の割合に対して、人口の割合が圧倒的に大きい点にあります。この数値の乖離は、県内の人や経済活動、行政機能などが福岡市という限られた範囲に極度に集中していることを示しています。その結果として高い人口密度が形成されており、九州地方における地方中枢都市としての機能を果たしています。
問11	答え 1 那覇空港の拡張や大型リゾートホテルの建設といったインフラ整備が進み、国内外からのアクセスと受け入れ体制が向上したこと。	沖縄県は離島県であるという特性上、観光客を増やすためには航空路線の拡充や空港の整備が不可欠でした。また、1975年の沖縄国際海洋博覧会以降、大規模なリゾート開発が進んだことで、観光収入を拡大させる基盤が整いました。現在では、観光産業は沖縄県の県内総生産（GDP）において極めて重要な役割を果たしており、雇用創出の面でも経済を支える大きな要因となっています。
問12	答え 4 シラス台地	九州地方南部には、過去の火山活動に由来する火砕流堆積物が広範囲に分布しています。この白っぽい砂状の土壌からなる台地は、水はけが非常に良く水持ちが悪いため、かつては稲作に向かない土地とされてきました。そのため、現在でもサツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産が盛んな地域となっています。
問13	答え 2 シラス台地	鹿児島県周辺には、火山の噴出物である火山灰や軽石などが堆積してできた大規模な台地が存在します。この地形は水はけが非常に良いという特徴があり、かつては水不足に悩まされることもありましたが、現在ではその特性を活かした畑作や畜産が盛んに行われています。
問14	答え 2 火山活動が活発な地域に位置しており、別府や由布院などの温泉地が観光の拠点となっている。	大分県は、九州を横断する火山帯の影響を受けており、地熱資源が非常に豊富です。源泉数が4,000箇所を超えるという特徴は、活発な火山活動という自然環境を背景にしたものであり、これを活用した別府温泉や由布院温泉は、国内外から多くの観光客を集める九州を代表する観光地となっています。